

# JGAイヤーエンド交流会2024

2024年12月18日(水)



今年は東京・江東区の森下文化センターにて開催、総勢 136 名が集う盛会となりました。全国通訳案内士は 87 名(会員 84 名、非会員 3 名)が参加。観光・旅行関連の法人として、賛助会員 17 社 30 名、一般の会社が 7 社 14 名、来場されました。観光庁、JNTO(日本政府観光局)他、研修等でお世話になっている方々などもお越し下さり、にぎやかな交流会となりました。



プログラム前半では、観光庁からご挨拶があり、訪日観光の状況だけではなく、全国通訳案内士への期待や、全国通訳案内士の周知に関する取り組みの説明がありました。

せっかくの機会ですので、例年、訪日観光のアップデートとなるようなお話をお願いしていますが、今年は賛助会員である国際医療通訳アカデミーより医療ツーリズムや医療通訳の最新事情などについてもお話いただきました。

伊藤会長の挨拶では、ガイド需要が高まる一方で、優秀なガイドを求める声もますます大きいこと、情報機器が発達する中で人間のガイドを雇うお客様の期待に添えていくこと、後進の全国通訳案内士の育成がより一層重要になることが強調されました。

参加者の紹介を通じて、観光や旅行業の枠を超えた幅広い業種の方々から、全国通訳案内士への期待や、2025 年の展望を聞くこともできました。業界関係各者がこれだけ多く、幅広く集う場は貴重で、有意義な情報交換ができたとの声もありました。

後半の歓談タイムは、サンドイッチやお菓子などの軽食をつまみながらガイド同士でおしゃべりしたり、参加された多くの会社の方々に挨拶をされたり、賑やかなひとときとなりました。仕事の現場ではガイド同士が出会うことも、情報交換をする機会も少ないため、貴重な機会だったとの感想が多くありました。

準備から当日の会場説明まで多くの会員の協力がありました。終了後の片付けには参加者が協力してくれました。

日付や場所の都合があわなかった会員皆様もいらっしやることと思います。また別の形で交流の機会がもてることを願っております。

お力添え下さいました皆様、ご参加下さいました皆様に感謝いたします。

寒さいよいよ厳しい折、皆様どうぞご自愛下さい。

(文中の敬称を省略させていただきました)